

みはら再発見 わたしのまちのふるさと大使

市の情報発信や産業・観光などの振興のため、市にゆかりのある14人と1組に「三原市ふるさと大使」を委嘱しています。

最終ページでは、三原市ふるさと大使の皆さんの三原の好きなおところや思い出などを紹介します。

観光課 ☎0848・67・6015

平成30(2018)年10月号
第163号 毎月1日発行
編集・発行／三原市秘書広報課

〒723-8601 広島県三原市港町三丁目5番1号
秘書広報課 ☎0848・67・6007
ホームページ <http://www.city.mihara.hiroshima.jp/>

東京の美術大学に行くまでの18年間の、三原でのおもいでに残る景色は……。
―夕日の沼田川の土手、深い緑の中の歴史ある佛通寺、食卓に並んだタコやシヤコやワタリガニなどの新鮮な瀬戸内の海の幸、二十三夜祭り、蝉しぐれ、オニヤンマ、田んぼの用水路でのメダカやフナやドジョウとり、窓からみえる城山、稲穂のなかに立つ案山子―。

その時の風のおいやかな
音や色を、今でも鮮明に覚えています。このゆつたりとした景色が、今も私の中にあります。ふるさとへの思いをこれらのイラストと共に、いつか絵本で子どもたちに伝えたいと思っています。
温かく育んでくださった三原市と三原市の皆様によるこんでいただけよう、精進してこれからも創作活動に励みます。三原の子どもたちに会える機会がもっともっと増えるよう願っています。

永井郁子

鮮やかなおもいで



絵本作家・イラストレーター
ながいくこ
永井郁子 さん

本郷町出身、多摩美術大学油画科卒業。昭和54年、『ピノッキオ』(高橋 久/訳、集英社)で挿絵画家としてデビュー。「わかったさんのおかしシリーズ」や「ドラゴンまるのぼうけんシリーズ」など、数多くの作品を手掛ける。全国各地でお話し会や講演会を開くなど、読者との触れ合いを大切にしている。



私の好きな風景

佛通寺は絵になるポイントがいっぱい！三原東高校美術部の夏合宿でも行った大好きな場所です。



▲永井さんの作品は図書館で借りることができます

新緑・紅葉の名所として知られる佛通寺



三原市の人口(8月31日現在)

※外国人住民を含む。
※()内は前年同月との比較。

世帯数 43,708 世帯 (-228)

人口 94,730 人 (-1,281)

男 45,358 人 (-622)

女 49,372 人 (-659)

人口移動の詳細については

広島県 人口移動 月報 で
検索

税などの納期(普通徴収)

- 国民健康保険税(第4期)
 - 介護保険料(第4期)
 - 後期高齢者医療保険料(第4期)
- 納期限 10月31日(水)まで
夜間収納窓口(19時まで)
毎週木曜日

航空機の騒音測定結果(8月分)(Lden)

- ▶正広局(本郷町善入寺正広)=49.4
- ▶本郷局(本郷町船木川西上)=52.8

豪雨災害からもうすぐ3カ月がたとうとしています。電車の運転が一部区間で始まりました、営業を再開する店舗があったり、多くの人の力で、少しずつですが日常が戻ってきています。▼災害ボランティアとして活動する人、被災された方を音楽やスポーツで元氣付けようとする人。この約3カ月間、取材先で復旧・復興に向けて取り組むた皆さんの人たちと出会いました。▼生まれ育った三原のため、皆さんと同じように私でもできることを1つずつ積み重ねていきたいと思います(F)

再生紙と大豆インクを使用しています。
点字版や録音テープ・CDも発行しています。問い合わせは秘書広報課へ。